

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成 19 年度				管理	3-5-2-1
事務事業名 健康管理データバンクシステム管理事業				部等名	生活福祉部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	保健福祉課
	一般	01-040101003	細々目名	係等名	健康づくり係
政策体系	基本目標	3	共に支えあうやさしいまちづくり		
	施策	5	健康づくり支援体制の充実		
	基本事業名	2	生活習慣の改善		

事業概要 実施内容	市が実施している成人から乳幼児の住基情報や健診データ、訪問状況、予防接種の結果等の記録などをデータバンクシステムにより一元的に管理する。それらのデータから健診の案内通知、保健指導・健康管理に必要な情報の集計などを行っている。このことによって保健事業（母子保健・各種健診・予防接種）をより充実した事業の実施を行う。また、データバンクシステムにより事務の効率化を図る。				
根拠法令等	健康増進法・本宮市特定健康診査実施計画・介護保険事業計画・次世代育成計画	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定（年度～年度）			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18	円
	8 報償費	円	13 委託料	619,500 円	19 負担金補助及び交付金	円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	619,500 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象（誰を、何を）		担当課の業務管理	
手段（事業の具体的な内容、手順等）	→	活動指標名・式（アウトプット） 活動の大きさを表す指標	
成人から乳幼児の住基情報や健診データ、訪問状況、予防接種の結果等の記録を入力しデータバンクシステムにより一元的に管理する。それらのデータから健診の案内通知、保健指導・健康管理に必要な情報の集計などを行っている。このことによって保健事業（母子保健・各種健診・予防接種）をより充実した事業の実施を行う。また、データバンクシステムにより事務の効率化を図る。		指標 (1)	名称 委託料の確保62万 式
意図（対象を、どのような状態にしたいのか）	→	成果指標名・式（アウトカム） 意図の達成度を表す指標	
市民の健康情報を適切に管理し効率的に市民の健康レベルを上げる		指標 (1)	名称 式
事務事業を実施（意図を実現）することで、施策にどのように貢献していますか			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
指標	活動指標 (1)				620		
	活動指標 (2)						
	成果指標 (1)						
	成果指標 (2)						
投入量	事業内訳	財源 国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			620	
	事業費計 (A)	千円			620		
	職員数	人					
人件費	人件費平均額 (年)	千円			8,373	8,373	
	人件費計 (B)	千円			0	0	
	総事業費 (A+B)	千円			620	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

<p>、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか？</p> <p>老人保健による基本健康診査での利用から始まり、がん検診、母子保健、予防接種等に対応し、出生児の訪問事業の訪問記録データ管理を実施。そのため、案内通知が職員での対応が可能となった。予防接種データから医療機関からの照会に応じ、適正な予防接種の実施に結びつくこととなった。システムがバージョンアップされコンピューターからのデータの活用頻度が増えた。</p> <p>この事業に対して、関係者（市民・議会・事業対象者・利害関係人等）からどんな意見や要望が寄せられていますか？</p>

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
市民の健康管理と母子保健の管理を行い、市民の健康管理に役立てることができる。	市民の経年経過の健康管理に役立てることができる	事務処理の軽減と予防接種等の記録管理に結び付けられる。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】
使いやすいソフトの導入によりもっと効率的に事業にとりくめる 職員システムの共通理解と利活用の研修		
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】
システムの円滑な		

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 新事業対策にふさわしいソフトの導入によりもっと事務作業量をへらし対人保健指導活動を実施できた。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	(5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要 特定保健指導・介護予防事業の対象者の多くに対応できるために、保健師の事務量の軽減をはからなければならない。																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策 保健師の事務量の負担軽減化としてソフトの導入と保健師の増員を検討する。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 評価結果の根拠と理由																					
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	(4) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						